

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4976495号
(P4976495)

(45) 発行日 平成24年7月18日 (2012. 7. 18)

(24) 登録日 平成24年4月20日 (2012. 4. 20)

(51) Int. Cl.

F I

B 6 5 D 5/38 (2006. 01)

B 6 5 D 5/38 D

B 6 5 D 5/475 (2006. 01)

B 6 5 D 5/46 3 3 1 B

B 6 5 D 5/478 (2006. 01)

請求項の数 4 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2009-528161 (P2009-528161)
 (86) (22) 出願日 平成18年9月25日 (2006. 9. 25)
 (65) 公表番号 特表2010-503587 (P2010-503587A)
 (43) 公表日 平成22年2月4日 (2010. 2. 4)
 (86) 国際出願番号 PCT/KR2006/003787
 (87) 国際公開番号 W02008/032889
 (87) 国際公開日 平成20年3月20日 (2008. 3. 20)
 審査請求日 平成21年7月23日 (2009. 7. 23)
 (31) 優先権主張番号 10-2006-0089861
 (32) 優先日 平成18年9月16日 (2006. 9. 16)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(73) 特許権者 503278599
 ハンジン プリンティング アンド ケミ
 カル カンパニー リミテッド
 大韓民国 ソウル市 1 5 3 - 0 2 3, ク
 ンチョン-ク, ガンサン-ドン, 6 9 2
 (74) 代理人 100099759
 弁理士 青木 篤
 (74) 代理人 100092624
 弁理士 鶴田 準一
 (74) 代理人 100102819
 弁理士 島田 哲郎
 (74) 代理人 100140028
 弁理士 水本 義光
 (74) 代理人 100112357
 弁理士 廣瀬 繁樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 引き出し式の包装箱

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

展開された箱の形状に板紙を切断し、前記展開された箱のコーナーを折り、且つ、接続部分を糊付けすることによって製造された、物品を包装するのに好適な引き出し式の包装箱において、

内部容器 (3 0) を引き出しのように挿入する口部分 (1 6) を形成する四角形のチューブの形状を形成した4つの壁部分 (1 1、1 2、1 3、及び1 4) 及び背面壁部分 (1 5) と、手提げ袋の機能を実行するべく前記口部分 (1 6) に隣接して提供された加工された取っ手 (1 7) と、を具備した外部容器と、

少なくとも1つの物品を陳列するための物品支持部 (6 1) を収容し、且つ、引き出しのように開閉されるべく前記外部容器 (1 0) の前記口部分 (1 6) を通じて挿入される四角形の容器の形状を形成した4つの外部壁部分 (3 1、3 2、3 3、及び3 4)、4つの内部壁部分 (3 5、3 6、3 7、及び3 8)、及び底部壁部分 (3 9) を具備した前記内部容器 (3 0) と、

前記口部分 (1 6) の強度を補強するべく、前記内部容器 (3 0) が挿入される前記外部容器 (1 0) の前記口部分 (1 6) において前記外部容器 (1 0) の前記4つの壁部分を延長させて内向きに曲げることによって形成された口オーバーラップ部分 (2 1、2 2、2 3、及び2 4) と、

前記口オーバーラップ部分の中の1つの口オーバーラップ部分 (2 1) の自由端部によって形成されており、前記外部容器 (1 0) の上部壁部分から弾性的に引き離されてギャ

10

20

ップ(41)を形成しているストッパ(42)であって、前記内部容器(30)が開かれた際に前記内部容器(30)の上向きの突出部(40)と接触状態になることができるストッパ(42)と、

前記外部容器(10)の前記ストッパ(42)と接触状態になるように前記内部容器(30)の背面壁によって形成された前記上向きの突出部(40)と、

を有しており、

前記取っ手(17)は、前記外部容器(10)の前記口部分(16)に隣接して設けられており、前記取っ手(17)は2つのヘッド部分(19)を有しており、

前記取っ手(17)のそれぞれのヘッド部分(19)は、前記外部容器(10)に形成された孔(18)を通じて挿入されることにより、前記外部容器(10)の内部表面上において前記孔(18)の周りに保持されており、且つ、前記ストッパ(42)と前記外部容器(10)の間に前記ギャップ(41)を維持するべく機能している、引き出し式の包装箱。

10

【請求項2】

前記外部容器(10)の前記口部分(16)の両側に形成された傾斜部分(25)と、前記内部容器(30)に形成されており、前記内部容器(30)が閉じられた際にも、前記傾斜部分(25)の存在により前記外部容器(10)の外部に露出している接触部分(44)と、

前記内部容器(30)の前記外部及び内部壁部分(31及び35)の間に配置されており、前記外部容器(10)の外部に露出した前記接触部分(44)を形成しているグリップ部分(45)と、

20

を更に有する請求項1記載の引き出し式の包装箱。

【請求項3】

指を挿入するためのミシン目が入ったライン(27)が、前面側の前記外部壁部分(31)に形成されている請求項1記載の引き出し式の包装箱。

【請求項4】

前記3つの残りの口オーバーラップ部分(22、23、及び24)は、前記外部容器(10)の前記対応する壁部分から引き離されており、且つ、前記内部容器(30)との弾力的な接触状態となることにより、前記内部容器(30)の過剰な開閉動作を抑制している請求項1記載の引き出し式の包装箱。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、一般に、引き出し式の包装箱に関するものであり、更に詳しくは、内部容器と外部容器を有する物品包装箱に関するものであって、内部容器は、引き出しの構成において外部容器と共に組み立てられており、外部容器は、手提げ袋として機能している。

【背景技術】

【0002】

当技術分野において周知のように、従来の包装箱は、4つの連続した壁部分、上部壁部分のセグメント、及び下部壁部分のセグメントを含む板紙を使用して展開された箱を形成し、展開された箱の2つの端部を1つに糊付けすることによって4つの壁部分を成形し、上部及び下部壁部分のセグメントを組み立てると共に、組み立てられた箱に取っ手を提供するか又は板紙にノブを提供することにより、製造されている。

40

【0003】

包装箱の機能について説明すれば、物品の製造者は、物品を包装箱によって包装し、包装された物品を物品販売者に引き渡す。販売者は、包装された物品を店舗内に陳列し、包装された物品を手提げ袋の内部に収容された状態において購入者に引き渡す。購入者は、購入した物品を収容している箱を開き、物品を取り出して使用する。大部分の包装箱及び手提げ袋の寿命は、包装箱が開かれた際に終了することになる。

【0004】

50

大部分の地域においては、購入者は、手提げ袋を別途購入しなければならないと法律によって規定されている。当技術分野においては、手提げ袋の購入という要件に起因した購入者の負担を低減するための装置が開示されている。手提げ袋としても機能する包装箱は、大韓民国実用新案登録第20-231423号(KR20-231423B)、第20-352935号(KR20-352935B)、及び第20-352938号(KR20-352938B)に記述されている包装袋及び包装箱を含んでいる。

【0005】

取っ手が提供された包装箱によれば、購入者は、手提げ袋を購入する費用を節約可能であり、これは、資源の節約という社会的な利益をも提供している。しかしながら、取っ手を具備するものを含む大部分の包装箱は、物品を包装している包装箱が一旦顧客に引き渡された段階で、包装箱の使用が終了し、包装箱は、物品から除去されて廃棄されることになる。

【0006】

本発明は、物品の包装箱の機能と、これから得られる利益を拡張した引き出し式の包装箱を提供するべく考案されたものである。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

物品の製造者によって製造された物品は、個別に包装され、市場に投入され、購入者によって選択及び購入され、手提げ袋の内部に保持された状態において運搬され、購入者の所望に従って使用される。物品の製造者が留意する最大の関心事項の1つは、市場に投入された物品が、顧客に販売される際にどの程度の競争力を有しているかという点にある。物品が競争力を有するためには、物品が購入者との間においてコミュニケーションを遂行できるように物品を設計し、購入者によって選択されるようにする必要がある。このコミュニケーション手順は、物品と購入者の間における情報の提供と呼ぶことができる。物品がパッケージ媒体を通じて顧客との間において実行する情報の提供は、一次的な情報の提供であり、これは、その物品の品質、有効性、及び価格に基づいたものである。これに加えて、顧客が物品を購入して使用する際に物品の包装によって提供されるサービスを介して二次的な情報の提供が実行される。この二次的な情報の提供は、物品の販売に強力な影響を及ぼすことが判明している。即ち、2つの物品製造者によって製造された物品の品質及びコストが互いに等しい場合に、1つの物品内に含まれている二次的な考慮事項が顧客に認知されている場合には、その製品の市場占有率が大幅に増大することになる。物品の製造者及び販売者の関心は、この二次的な考慮事項に集中しており、これが、顧客による物品の選択を促すための大きな要因として機能している。

【0008】

本発明においては、この二次的な情報の提供の内容により、物品の優雅さを向上させ、購入者に利便を提供し、材料を節約し、ユーザーに対して実用性を保証すると共に、物品の使用期間の全体を通じて物品の優雅さを維持する必要があると考えている。

【0009】

本発明は、顧客による物品の認知に対して直接的に影響を及ぼすと共に物品に対する購入者の関心を喚起する情報を提供する媒体を包装箱の内部に包含するべく機能している。本発明は、包装箱の内部に含まれた購入促進媒体として、引き出し式の包装箱を開示している。本発明においては、引き出し式の包装箱とは、物品が完全に使用される期間にわたって引き出しの機能を維持可能である包装箱を意味している。この引き出し式の包装箱は、引き出しを開く単一の動作を通じて物品が取り出されるパッケージを意味するものではない。本発明による引き出し式の包装箱は、外部容器と内部容器の組み合わせを有している。本発明は、外部容器が手提げ袋の機能を果たしており、この結果、別個の手提げ袋に対するニーズを除去した包装箱を提供している。本発明は、引き出しのように外部容器との関係において内部容器を開閉可能である包装箱を提供している。本発明は、引き出しのような内部容器の動作の際に内部容器が外部容器から分離しない包装箱を提供している。

本発明は、物品の一部が使用されている際に物品の残りの部分が良好な状態で維持されており、且つ、物品の品質が最後まで維持される包装箱を提供している。本発明は、外部容器の口部分の強度が補強されており、従って、包装箱の外観が劣化しない包装箱を提供している。

【課題を解決するための手段】

【0010】

板紙の包装箱において、展開された箱の形状を具備した平らな板紙から、4つの上部、下部、左、右壁部分と、前面壁部分、背面壁部分、コーナー部分、接合部分、折られた状態に箱を維持するための結束部分、及びその他のオーバーラップ部分が形成されている。コーナー部分を折って接合部分を糊付けすることにより、正常な箱の形状が形成される。板紙の包装箱は、4つの壁部分、前面壁部分、及び背面壁部分を潰れた状態において保持可能な方式によって製造されている。板紙の包装箱は、潰れた状態において配布され、物品を包装する際に正常な箱の形態に折られている。

10

【0011】

物品と購入者の間のコミュニケーション媒体として機能するべく、物品の購入者又はユーザーに対して利便と追加サービスを提供するための新規な特徴及び使用効果を含む本発明は、前述の製造方法を使用することにより、展開された箱から製造されている。

【0012】

本発明による引き出し式の包装箱は、内部容器と外部容器を有している。本発明の外部容器は、引き出しの形態において内部容器を受け入れるチューブタイプの箱である。外部容器には、取っ手が提供されており、手提げ袋の機能を果たしている。外部容器は、部分的に内部容器のヘッド部分を露出させていることから、ユーザーは、片手を使用してヘッド部分を把持し、内部容器である引き出しを開くことが可能であり、露出しているヘッド部分に物品に関する情報を印刷可能である。内部容器を外部容器の内部に受け入れる外部容器の口部分の強度は、口部分が曲がらずに真っ直ぐな形態を具備し、この結果、包装箱の外観が劣化しないように、増強されている。外部容器は、引き出しが自由に開閉しないように、適切な摩擦力を生成している。具体的には、外部容器は、引き出し、即ち、内部容器を開く際に引き出しが外部容器から分離することを防止するためのストッパを含んでいる。又、背面壁部分は、折り畳まれるように形成されており、この結果、上部及び下部壁部分が互いに接触して潰れた状態において包装箱を物品製造者に提供可能であり、且つ、物品製造者は、潰れた外部容器を四角形のチューブの正常な形状に折ることにより、内部容器を外部容器の内部に収容可能である。

20

30

【0013】

本発明の内部容器は、外部容器の内部に収容されており、且つ、物品の使用期間を通じて引き出しのように安定して開閉される。内部容器の内部には、陳列された状態において物品を支持する物品支持部が収容されている。内部容器は、上向きの突出部を具備しており、この結果、外部容器のストッパを上向きの突出部と接触させることにより、引き出しの分離を防止可能である。外部容器の外部に露出した内部容器の接触部分には、内部容器を指によって把持可能であるグリップ部分が提供されている。更には、ミシン目が入ったラインを切り裂くことによって指を内部容器の内部に挿入できるように、内部容器には、ミシン目が入ったラインが形成されている。

40

【0014】

以下、その実施例に関する添付の図面を参照し、本発明について更に詳細に説明することとする。

【0015】

本発明の一実施例による引き出し式の包装箱は、外部容器10及び内部容器30を有している。外部容器10は、4つの壁部分11、12、13、及び14と、背面壁部分15、及び接合部分29を板紙から一体で形成し、この平らな板紙を四角形のチューブの形状に折り、且つ、接合部分29を糊付けすることにより、製造されている。チューブの形状に形成された外部容器10は、引き出しのように内部容器30を外部容器10の内部に収

50

容可能な口部分 16 を具備している。外部容器 10 には、口部分 16 に隣接して取っ手 17 が提供されており、この結果、外部容器 10 は、手提げ袋の機能を果たすことができる。

【0016】

内部容器 30 は、4 つの外部壁部分 31、32、33、及び 34、4 つの内部壁部分 35、36、37、及び 38、底部壁部分 39、及び結束部分 46 を含む内部容器 10 のコンポーネント要素を平らな板紙から一体で形成し、この平らな板紙を箱の形状に折り、且つ、結束部分 46 を互いに接続することにより、四角形の容器の形状に製造されている。四角形の容器内には、少なくとも 1 つの物品を陳列するための物品支持部 61 が収容されている。内部容器 30 は、引き出しのように開閉できるように、外部容器 10 の口部分 16 を通じて挿入可能である。内部容器 30 を閉じた際には、内部容器 30 の内部端部が背面壁部分 15 と接触することになり、内部容器 30 を開いた際には、内部容器 30 の上向きの突出部 40 が外部容器 10 のストッパ 42 と接触することになる。

【0017】

本発明においては、内部容器 30 が外部容器 10 との関係において引き出しのように開閉されることから、物品を最初に使用する際には、引き出しを開いて、いくつかの内容物を取り出している。次いで、引き出しが閉じられた際には、包装箱は魅力的な初期の外観を具備しているため、物品が完全に使用される期間を通じて包装箱を初期状態に維持可能である。本発明による引き出し様の包装箱の効果により、物品のユーザーは、物品の使用期間を通じて内容物の残りの部分を新規購入品であるかのように使用可能である。物品の使用期間を通じて、物品の残りの部分を良好な状態において容易に維持可能であり、箱の開閉動作を容易に且つ便利に実行可能である。これらの利益は、店舗内において購入者の関心を喚起するための情報媒体として機能している。又、本発明による引き出し式の包装箱の場合には、物品が完全に使用される期間を通じて包装箱がきれいに保持されるという事実起因し、物品のイメージが改善されることになる。更には、包装箱の印刷媒体を通じて物品の広告効果が向上するという利益も、物品の製造者及び販売者に付与されている。

【0018】

口部分 16 の強度を補強するための口オーバーラップ部分 21、22、23、及び 24 は、内部容器 30 を外部容器 10 の内部に受け入れる口部分 16 において外部容器 10 の 4 つの壁部分を延長させて内側に曲げることにより、形成されている。図 7 及び図 8 に示されているように、口オーバーラップ部分 21、22、23、及び 24 により、チューブ形状の外部容器 10 の口部分 16 のエッジ 16a は、丸い表面を具備するようになっており、滑らから外観が提供されている。更には、丸いエッジ 16a の存在に起因して、口部分 16 の強度が補強されていることから、口部分 16 の輪郭が美的な魅力を持っており、この結果、物品の品質が向上し、且つ、板紙の切断端が隠蔽されていることから、板紙の鋭い切断端によって指が傷つくことを防止可能である。この観点において、図 9 を参照すれば、板紙の切断端 16b が外部容器 10 の口部分 16 において外部に露出している場合には、包装箱の外観が劣化すると共に、口部分の強度が弱化し、この結果、口部分に曲がった部分が形成され、物品の品質が劣化することになる。又、ユーザーの指が板紙の鋭い切断端によって傷つく可能性も存在している。

【0019】

口オーバーラップ部分の 1 つである口オーバーラップ部分 21 は、外部容器 10 の上部壁部分 11 から弾性的に引き離されてギャップ 41 を形成しており、口オーバーラップ部分 21 の自由端部がストッパ 42 として機能し、これが、内部容器 30 が開かれた際に内部容器 30 の上向きの突出部 40 と接触することになる。ストッパ 42 と接触することになる内部容器 30 の上向きの突出部 40 は、内部容器 30 の背面壁部分によって形成されている。引き出しのような内部容器 30 の動作を適切に維持するためには、意図しない外部容器 10 からの引き出しの分離を防止する必要がある。本発明においては、ストッパ 42 が外部容器 10 の上部壁部分 11 から引き離されてギャップ 41 を形成しているため、

内部容器 30 が十分に開かれた場合にも、ストッパ 42 が内部容器 30 の上向きの突出部 40 と接触することから、内部容器 30 の意図しない分離が防止されている。この設備を含む本発明による包装箱の内部容器 30 は、引き出しのように、安定した状態において開閉可能である。

【0020】

本発明においては、外部容器 10 の口部分 16 の両側に傾斜部分 25 が形成されている。これらの傾斜部分 25 の存在に起因し、引き出しが閉じられた際に、内部容器 30 の接触部分 44 が外部容器 10 の外部に露出している。接触部分 44 を形成するべく、内部容器 30 の部分 31 及び 35 の間には、グリップ部分 45 が形成されている。接触部分 44 は、引き出しの開閉とは無関係に、外部に露出している。グリップ部分 45 によって形成された接触部分 44 により、引き出しを開いた際に、内部容器 30 を指で把持可能である。更には、グリップ部分 45 は、物品に関する情報を提供する媒体として利用することも可能である。

【0021】

内部容器 30 の外部壁部分 31 には、指を挿入するためのミシン目が入ったライン 27 が形成されている。ミシン目が入ったライン 27 は、等価な手段として機能するノブによって置換することも可能である。ミシン目が入ったライン 27 を内側に押下することにより、ユーザーは、指を挿入して引き出しを開閉するための開口部を形成可能である。開口部が形成されるか又はノブが内部容器 30 に提供されている場合には、開口部を通じて指を挿入することによって又はノブを使用することによってグリップ部分 45 を把持した状態において、引き出しを開閉可能であり、これにより、便利な方式によって引き出しの開閉動作を実行可能である。

【0022】

又、3つの残りの口オーバーラップ部分 22、23、及び 24 も、外部容器 10 の対応する壁部分から引き離されて内部容器 30 との弾性接触状態にあり、内部容器 30 の妨げのない開閉動作を防止している。3つの残りの口オーバーラップ部分 22、23、及び 24 は、前述のように、外部容器 10 の口部分 16 の強度を補強すると共に引き出しの安定した操作を実現するための摩擦力を生成するべく機能している。この繊細な機能は、本発明が適用されている包装された物品の反復購入者の購入決定傾向を刺激している。

【0023】

図 10 を参照すれば、外部容器 10 に提供された取っ手 17 のそれぞれは、それぞれのヘッド部分 19 が、外部容器 10 内に形成された孔 18 を通じて挿入され、外部容器 10 の内部表面上において孔 18 の周りに保持される方式により、構築されている。取っ手 17 のヘッド部分 19 は、ストッパ 42 と外部容器 10 の間にギャップ 41 を維持するべく機能している。図 11 においては、弾性を適用してストッパ 42 の適切な動作を実現する機械的な要素が提供されている。この機械的な要素は、口オーバーラップ部分 21 と外部容器 10 の間に配設されたスプリング 47 を有している。図 10 においては、取っ手 17 のヘッド部分 19 の材料の弾性により、口オーバーラップ部分 21 が、図 11 に示されているものと同一の方式によって動作可能である。従って、本発明においては、ストッパ 42 が、引き出し、即ち、内部容器 30 の安定した便利な動作を保証している。

【0024】

外部容器が家具の上に適切に配置された際に、引き出しを開閉することにより、物品を取り出して使用可能であり、従って、本発明による包装箱は、物品を使用するための位置に包装箱が維持されている期間中に、家具の引き出しとして機能可能である。

【発明の効果】

【0025】

以上の説明から明らかなように、本発明は、物品購入者の関心を喚起する手段として使用可能である引き出し機能を具備した包装箱を提供している。本発明の引き出し式の包装箱は、外部及び内部容器の組み合わせを有している。外部容器は、手提げ袋として機能している。内部容器は、引き出しの動作と同様に、外部容器との関係において安定した状態

10

20

30

40

50

で開閉可能である。引き出し式の動作の際に内部容器が外部容器と分離することはない。いくつかの物品が使用されている際には、残りの物品は、内部容器、即ち、引き出し内に保持されており、この結果、残りの物品の初期の品質をそのままに維持可能である。外部容器の口部分の強度が補強されていることから、引き出し式の包装箱の外観が劣化することもない。

【発明を実施するための最良の形態】

【0026】

本発明の実施例は、以下の例1～例7に提示されている。

【0027】

(発明の態様)

10

(例1)

外部容器の製造：図3に示されているように、外部容器10のコンポーネントである4つの壁部分11、12、13、及び14、背面壁部分15、及び接合部分29、外部容器10の口部分16の口オーバーラップ部分21、22、23、及び24、口オーバーラップ部分21の端部に形成されるストッパ42、及び外部容器10の口部分16の両側に形成される傾斜部分25を平らな板紙の内部に含むように、展開された箱を製造した。次いで、この展開された箱のコンポーネントを境界線に沿って折り、接合部分29を糊付けすることによって外部容器10を製造した。

【0028】

(例2)

20

内部容器の製造：図4に示されているように、外部壁部分31、32、33、及び34、内部壁部分35、36、37、及び38、底部壁部分39、及び結束部分46を平らな板紙の内部に含むように、平らな板紙片を準備した。次いで、平らな板紙を折って結束部分46を組み立てることにより、内部容器30を製造した。

【0029】

(例3)

取っ手の取り付け：取っ手17を外部容器10を貫通させた状態において口部分16に隣接して取り付けた。

【0030】

(例4)

30

物品支持部61を例2の内部容器30の内部に収容した。

【0031】

(例5)

内部及び外部容器並びにストッパの機能の組立：例4の内部容器30を例3の外部容器10の内部に取り付けた。

【0032】

包装箱を閉じた際には、内部容器30の内部端部が、外部容器10の背面壁部分15と接触状態となり、包装箱を開いた際には、内部容器30の上向きの突出部40が外部容器10のストッパ42と接触状態となった。

【0033】

40

(例6)

指を挿入するためのミシン目が入ったラインの形成：指を挿入するためのミシン目が入ったライン27を例2の内部容器30の外部壁部分32に更に形成した。

【0034】

(例7)

口オーバーラップ部分の機能：例1の外部容器10の口部分16の3つの面の口オーバーラップ部分22、23、及び24の端部を外部容器10から引き離し、内部容器30との弾性接触状態とした。この弾性接触は、摩擦力を生成し、内部容器30の自由な開閉を妨げた。

【産業上の利用可能性】

50

【 0 0 3 5 】

本発明の結果として、即座に使用可能である試験用の引き出し式の包装箱が得られた。この試験用の引き出し式の包装箱の特徴は、図 3 及び図 4 の展開された板紙片の内部に内蔵されていた。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 3 6 】

【図 1】本発明の一実施例による引き出し式の包装箱を示す斜視図である。

【図 2】本発明の実施例による引き出し式の包装箱の外部及び内部容器を示す分解斜視図である。

【図 3】本発明による外部容器の展開図である。

10

【図 4】本発明による内部容器の展開図である。

【図 5】本発明による内部及び外部容器を示す切断斜視図である。

【図 6】本発明による外部及び内部容器の組立状態を示す断面図である。

【図 7】本発明による外部容器の口部分を示す正面図である。

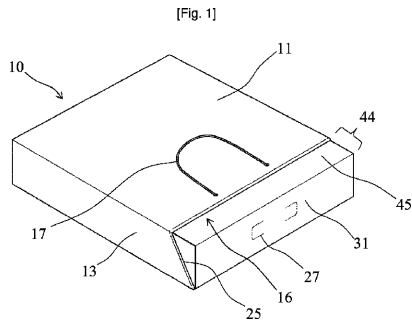
【図 8】図 7 のライン A - A に沿って取得した断面図である。

【図 9】外部容器の口部分からオーバーラップ部分を除去した際の口部分の変形状態を示す正面図である。

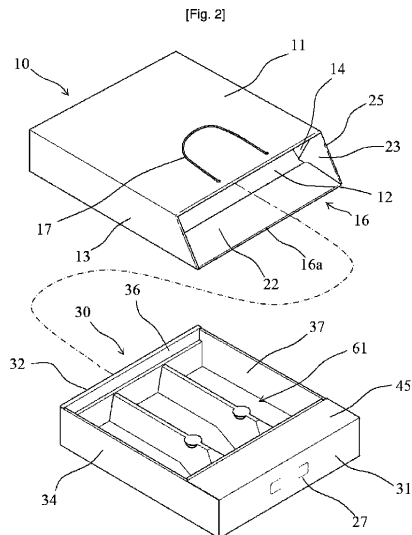
【図 10】ストッパを弾性的に付勢している取っ手を示す断面図である。

【図 11】図 10 と等価な断面図である。

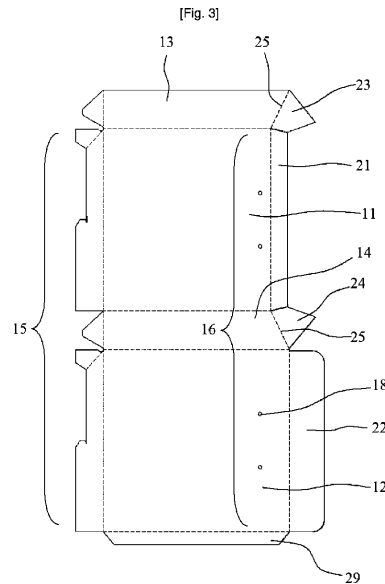
【図 1】



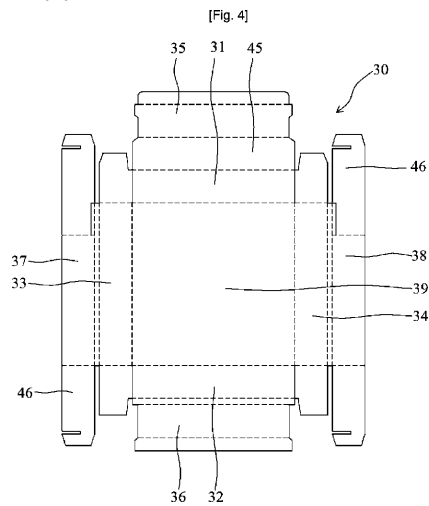
【図 2】



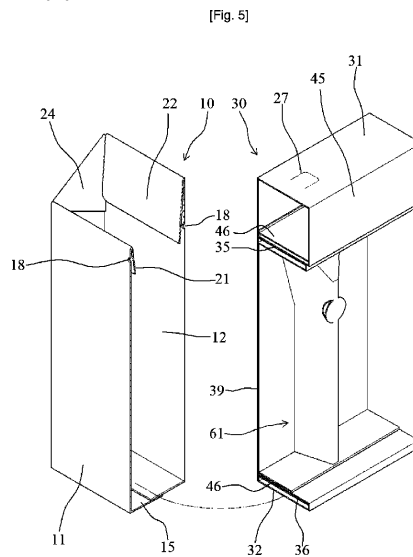
【図 3】



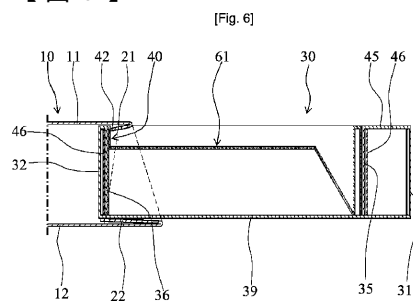
【図 4】



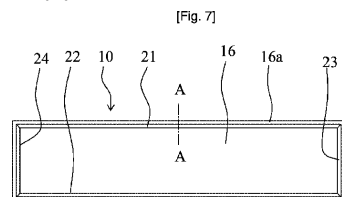
【図 5】



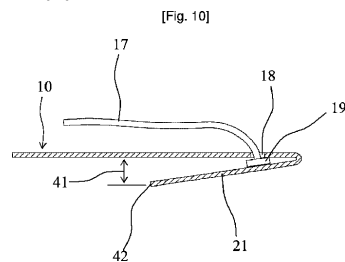
【図 6】



【図 7】

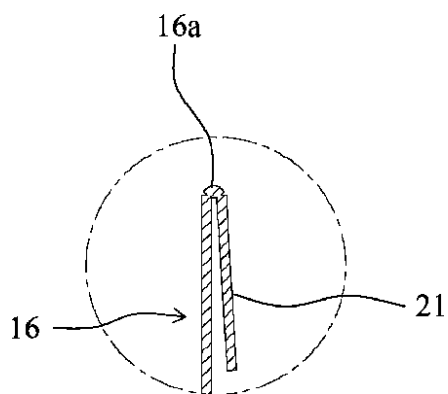


【図 10】



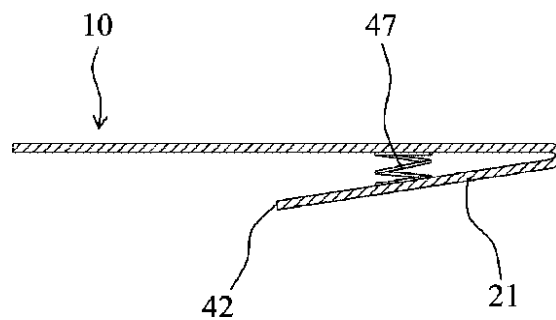
【図 8】

[Fig. 8]



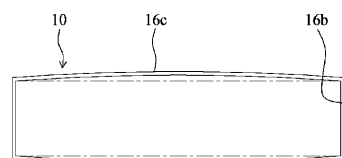
【図 11】

[Fig. 11]



【図 9】

[Fig. 9]



フロントページの続き

(74)代理人 100147599

弁理士 丹羽 匡孝

(72)発明者 コン, スン - オー

大韓民国, ギョンギ - ド 4 1 2 - 0 2 0 , ゴヤン - シ, スンサ - ドン 4 0 4 - 2 4 , ドクスビ
ルラ エー - 1 0 1

審査官 柿崎 拓

- (56)参考文献 実開昭 6 2 - 1 2 7 9 8 4 (J P , U)
特開 2 0 0 4 - 1 2 3 1 7 3 (J P , A)
実開平 0 6 - 0 5 3 4 2 2 (J P , U)
実開昭 6 0 - 1 4 6 0 1 4 (J P , U)
特開 2 0 0 0 - 0 2 5 8 7 0 (J P , A)
実開昭 5 8 - 0 6 7 7 2 5 (J P , U)
実開昭 5 8 - 1 0 2 4 6 3 (J P , U)
実開昭 6 0 - 1 8 4 8 2 0 (J P , U)
登録実用新案第 3 0 3 0 5 2 7 (J P , U)
特開 2 0 0 3 - 3 1 2 6 4 1 (J P , A)
特開平 1 0 - 1 1 9 9 5 7 (J P , A)
実開平 0 6 - 0 1 6 2 2 2 (J P , U)
米国特許第 3 4 1 7 9 1 0 (U S , A)
米国特許第 1 5 1 1 3 2 8 (U S , A)
米国特許第 2 3 1 8 6 5 5 (U S , A)
米国特許第 3 8 2 3 8 6 4 (U S , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

B65D 5/00- 5/76

B65D 30/00-33/38